

2016 年度一般入試（A 日程後期）国語の出題ミスについて

宮城学院女子大学
学長 平川 新

2 月 18 日（木）実施の一般入試（A 日程後期）において、国語の問題に出題ミスがあることが判明しましたので、ご報告します。

受験生をはじめ、関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今後、このような出題ミスが起こらないようチェック体制を強化し、再発防止に向け万全を期してまいります。

【概要】

実施日：2016 年 2 月 18 日（木）

対象となる入試制度：一般入試（A 日程後期）

対象となる学科：日本文学科を除く全学科

試験科目：国語

受験者数：141 人

【出題ミスのあった問題】

国語^三その 2（現代文）

問一 傍線部(1)～(5)の片仮名を漢字に直しなさい。

（該当傍線部抜粋）

- (1)普及をウナガした。
- (4)テッキョし始めた。
- (5)ニナっていた

【出題ミスの内容】

上記 3 問について、全選択科目合冊の試験問題冊子中の別科目の問題文中に正解と一致する漢字が記載されていた。

【対応について】

国語^三その 2（現代文）の上記 3 問については、選択解答者 94 名全員を正解とし再度合否判定を行い、不公平が生じないよう対応しました。

今後、原因を精査し、問題確認の徹底を行うことで再発防止に全力を尽くす所存です。

【お問い合わせ】

宮城学院女子大学
教育研究支援グループ
入試広報担当